

## 琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会 平成17年度の検討成果と今後の課題

	協議会承認事項	平成17年度の検討成果	平成18年度以降の課題	備考
平常時	浸水危険度マップの作成（平常時版）	モデル市である草津市で、浸水危険度マップについて検討（他市へ検討内容を紹介）都市計画用、農政用のマップを作成	・草津市において浸水危険度マップ（平常時版）を閲覧、および Web 上で公表、他市における作成を支援	配付資料 3-1
	< 都市計画マスタープランへの反映 >	規模別浸水想定区域図を都市計画マスタープランの策定に活用することを検討	・引き続き都市計画マスタープランの策定に活用することを検討。例えば、都市計画マスタープランの付図として活用するなど	
緊急時	避難勧告技術基準の検討	基本的な考え方の整理 ・判断の基準となる河川情報について理解 ・避難に要する時間の把握 ・技術基準（エリア、指標、判断基準）の検討	・河川管理者による検討資料の提供 ・モデル河川での避難勧告基準の検討・設定	配付資料 3-2
	情報取得の見直し	情報取得について現状と課題の把握 対応策として次を検討 (1) 国、県による新たなシステムを的確に受信するための体制の構築 (2) 民間気象情報会社の活用	・対応策の実施とフォローアップ	配付資料 3-2
	情報伝達の見直し	情報伝達について現状と課題の把握と改善策を検討	・対応策の実施とフォローアップ	配付資料 3-2
	情報内容の見直し	情報内容について現状と課題の把握 対応策として、標準的な文例と使用方法を検討	・対応策の実施とフォローアップ	配付資料 3-2
	< 初動体制の見直し >（上記以外の課題として確認された）	発災時における初動体制への的確な移行が課題であることを確認	・現状と課題の把握、対応策の検討を実施	配付資料 3-2
	洪水ハザードマップの作成支援	他の自治体における先進事例の紹介	・ハザードマップ作成の進捗に応じて資料提供や情報交換を実施	配付資料 3-2

< > については今年度の協議の中で新たに上がった項目である

	協議会承認事項	平成 17 年度の検討成果	平成 18 年度以降の課題	備考
	浸水危険度マップの作成（非常時版）		・モデル市である草津市で、浸水危険度マップ（非常時版）の作成	
	< 自主防災組織の活性化検討 >	自主防災組織の活性化の必要性について確認	・現状と課題の把握、対応策の検討を実施	
中小河川	浸水原因の把握、当面の対応策検討	中小河川による浸水状況を把握 浸水実績図として整理	・洪水ハザードマップの検討に活用	配付資料 3-3
ため池	防災対策検討	0.5ha 以上のため池を対象とした緊急点検の結果を確認	・具体的な防災対策の検討	配付資料 3-4

< > については今年度の協議の中で新たに上がった項目である